# 全改協だより

発行所　〒101-0065 東京都千代田区
西神田3-1-2ウインド西神田ビル502
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
TEL.03-6380-8021
FAX.03-6380-8435
e-mail：mail@zenkaikyou.or.jp
U R L：www.zenkaikyou.or.jp
twitter：@zenkaikyou
facebook：全国牛乳流通改善協会

第5回
牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール
牛乳販売店特別賞受賞作品
「くるまモーモー」

## 紙面から

第41回通常総会――（1～3面）
事業計画の概要――（3面）
地区別会議を開催――（3面）
都道府県流改協所在地一覧表――（4面）

第41回全改協通常総会

## ”三つの「活かす」を実行する年度に“～橋本会長～
## 役員改選され新たな体制で臨む

**一般社団法人全国牛乳流通改善協会（全改協）は、5月22日、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で第41回通常総会を開催しました。**

今回の通常総会は、去る3月16日の臨時総会でご承認いただいた平成30年度の事業計画及び収支予算以外の議案である、平成29年度の事業報告および平成29年度の決算報告と、役員改選を行いました。

総会は、定数41名に対して委任状出席、権利行使届含む39名の出席があり、全改協定款第19条および総会運営規程第7条により成立いたしました。北川忠男副会長の開会宣言後、橋本正敏会長の開会の挨拶、来賓紹介を経て、来賓を代表して安宅（あたぎ）倭農（やまと）林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課課長補佐、前田浩史Jミルク専務理事、松本恭永森永乳業株式会社執行役員のお三方からご祝辞をいただきました。

議長に加藤正三岐阜県流改協会長、議事録署名人に水戸良郎宮城県流改協会長、堀田征夫熊本県流改協会長を選任して議事に移りました。

議事は、平成29年度の事業報告、平成29年度決算報告について審議し、承認されました。次いで役員改選があり（左表参照）、荻原泉副会長の閉会の辞をもって総会本会議は終了いたしました。

通常総会の様子

### 平成30年度改選 全改協役員

| | |
|---|---|
| 会長 | 橋本 正敏 |
| 副会長 | 北川 忠男 |
| 副会長 | 荻原 泉 |
| 専務理事 | 中西 悶彦 |
| 常務理事 | 伊藤 恵祐 |
| 常務理事 | 白羽 恵司 |
| 理事 | 田村 長次郎 |
| 理事 | 中島 保廣 |
| 理事 | 新田 国範 |
| 理事 | 家村 正則 |
| 理事 | 新井 憲一 |
| 監事 | 佐藤 卓 |
| 監事 | 上原 啓資 |

### 第四十一回　通常総会次第

一、開会の辞
一、会長挨拶
一、来賓祝辞
（農林水産省 Jミルク 森永乳業）
一、議長選出
一、議事録署名人選出
一、議案審議
第一号議案
平成二十九年度 事業報告書承認の件
第二号議案
平成二十九年度 決算報告書承認の件
第三号議案
役員改選の件
一、閉会の辞

挨拶

### 一般社団法人全国牛乳流通改善協会 会長 橋本 正敏 氏

第41回通常総会にあたり、農林水産省牛乳乳製品課課長補佐安宅様はじめ賛助会員、メーカー・関連組織の皆さまにお越しいただきありがとうございます。また平日、宅配でお忙しい日程にも関わらず大勢の会長様のご参加をいただきありがとうございます。

先般臨時総会を開催し、平成30年度からの新しい方向性を承認いただきました。したがいまして、本日お集まりいただいた来賓、メーカー、関係者、報道の皆さまには、平成30年度の事業案、予算案につきましては、臨時総会で承認済みということを冒頭にご報告させていただいたうえで、通常総会に臨みたいと存じます。

私たちを取り巻く環境を顧みますと、29年度は、生乳生産が減少傾向にあり、Jミルクや乳業協会が中心となり最大限の努力を行っていただきました。生乳生産はいまなお下げ止まらない状況ですが、これらの努力は色々な面で成果を上げていることがうかがえます。また社会環境を見ますと、労働力不足が深刻な問題になっており、これは物流業界全体の大きな課題になると考えられます。一方、各乳業メーカーさまの商品開発、なかでも発酵乳の業績は、これまで右肩上がりで伸びてきましたが、ここにきて少し伸び悩んでいるとも言われています。しかし各メーカーさまが、消費者の健康ニーズに応えて、商品の開発をこれからもどんどん進めていくであろうと考えており、期待を寄せております。

さて全改協は、平成30年度、いよいよ新たなスタートを切ることになりました。人口減少、高齢化の影響で、流通の変化は今後もまだまだ続き、先が見えない状態だと推測しています。市場環境がこのように大変な時だからこそ、全改協が何をすべきかが非常に良く見えてくると思っております。これに対応すべく、一旦、現状の全改協の体制をシンプルな状態に整え、そのうえで、マーク協や商業組合など、いろいろな関連団体とのすみわけをしっかりと行い、全改協として何をすべきかを考えていきます。本年度の事業計画はこの

## 謹んで
## 平成三十年七月豪雨災害の
## お見舞いを申しあげます

このたびの
平成三十年七月豪雨に際しまして
被害を受けられました皆さま方に
謹んでお見舞い申しあげますとともに
一日も早い復旧・復興を
お祈り申しあげます

平成三十年八月

一般社団法人全国牛乳流通改善協会　会長
橋本正敏

考えに基づいて作成し、臨時総会でご承認いただきました。

一点提案させていただきます。それは、今後全改協が活動を進めるうえで、「三つの『活かす』を実行する」ということです。一つ目は社団法人の特権を最大限に「活かす」。二つ目はマークの垣根を越えたスケールメリットを最大限に「活かす」。三つ目は、牛乳販売店が得意とする、地域密着、少量多頻度、低温輸送という貴重な物流を社会に大きくアピールして「活かす」。この三つについて、今後どのようにするか皆で考えたい。

平成30年度は全改協の加盟店の皆さまがどんなことを望んでおられるか、どんなことで苦労なさっているのかを聞き、全改協として、その問題点を、3つの「活かす」を活用して解決するお手伝いをしたいと思っております。たとえば臨時総会で可決されたように、流改協の運営を最大限スリムにしました。流改協会長各位、事務局ご担当者各位におかれては、事務局業務でこれまで大変なご苦労をおかけしました。30年度はそれを全改協事務局が最大限お手伝いすることになります。特にマーク協さまにおかれましては、加盟店の意見を集約していただき、全改協に持ち込んでいただくことにご尽力をお願いしたいと思います。

これからも、関係行政各位、賛助会員各位より、ますますのご支援、ご協力を賜りますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。

## 祝辞

### 農林水産省　生産局畜産部　牛乳乳製品課　課長補佐　安宅（あたか）倭（やまと）氏

第41回通常総会の開催にあたりご挨拶申しあげます。

本日ご参会の皆さま方におかれましては、日頃から農林水産行政の推進にご理解とご協力を賜り、感謝申しあげます。

先ほど橋本会長の挨拶にもありましたように、昨今は流通の変化が非常に速いテンポで進み、かつ、先が見えないような状況になっております。この理由の一つには、少子高齢化などの問題が挙げられます。このような中、先ほど会長がおっしゃった「活かす」の一つ、地域密着型の活動は、大きな強みだと私どもは認識しております。

皆さま方におかれましては、日頃から消費者とつながりを持たれているという、牛乳販売店の強みを活かしながら、今後とも各地域において消費者の信頼、牛乳乳製品の消費拡大に対して引き続きご協力を賜りたいと思います。

もう一つ大きな問題に、生乳生産量の減少があります。農林水産省といたしましても、酪農生産基盤の強化に向けてJミルクほか関係団体と協力しながら各種事業を実施し、同時に需給状況を判断しながら市場が安定するよう努めているところであります。今年度も引き続き行って参りますので、どうぞよろしくお願い申しあげます。

「全改協だより」を拝見しますと、全改協では今年度から実施事業が大きく変わり、また事務局体制も大幅な変更が行われるとのことです。公益目的事業が終了したためだと伺いましたが、先ほど橋本会長からも「一般社団法人のメリットを『活かす』」というお話もありましたとおり、今後とも会員の皆さまで一丸となって牛乳・乳製品の普及のための取り組みをぜひ実施していただきますようお願い申しあげます。

最後に、ご出席の皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして ご挨拶とさせていただきます。

本日はおめでとうございました。

## 祝辞

### 一般社団法人Jミルク　専務理事　前田 浩史 氏

第41回通常総会が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。日頃から、Jミルクの事業にご理解ご協力を賜り、心より感謝申しあげます。

全改協ならびに全国の牛乳販売店の皆さまは、毎日お客さまに直接牛乳をお届けする行為を通じ消費者の方々との直接のコミュニケーションをとっておられ、これは酪農乳業界の中では牛乳販売店でなければできません。その特徴、強みにより、永年にわたりわが国の牛乳乳製品の消費拡大ならびに価値向上にご尽力いただいております。

さらに最近では、ひとり暮らしのお年寄りの世帯の見回りや地域の安全パトロールなど、牛乳宅配の特性を活かして時代のニーズに対応した社会貢献活動に積極的に取り組まれており、牛乳販売店の新しい価値として注目されております。こうした活動は、わが国の酪農乳業界にとって大変心強く、今後とも期待を申しあげます。

さて、明治維新から150年目にあたる今年、Jミルクでは、政府の支援を受け「日本人の食生活の近代化のシンボル的存在」である牛乳乳製品と酪農・乳業の近現代の歴史について、資料、情報の蒐集を行っております。この事業を通じ、牛乳販売店という形態が、日本人の食生活ならびに酪農乳業の発展に対して重要な役割を果たしてきたことがあらためて認識されています。このことは、牛乳販売店で働く方々にとり、携わる業界の歴史を知り、その役割を改めて自覚し、職業に対する誇りと仕事に対する意欲を高めることにつながると確信しております。今後さらに資料を集め、さまざまな情報を皆さまにお伝えしたいと思っております。そのためお願いです。全改協の加盟店さんに眠っている明治から昭和初期ぐらいまでの古い写真や、「引き札」と呼ばれた当時の広告のチラシ、製造・販売に使っていた道具や服装、取引の記録などがありましたらぜひお貸しいただきたく、この場をお借りしてお願いいたします。

Jミルクは本年度から第三期の三カ年計画をスタートさせました。基礎をつくる、事業を広げるという過去二回の三カ年計画に続いて、「事業を深める」を目標にしています。酪農乳業界を取り巻く喫緊の課題、とりわけ生乳生産量減少は大きな課題です。また乳製品輸入自由化の具体化にともない国産生乳の価値を高めることも課題です。皆さまのご協力を得て質の高い事業展開を目指します。その一環として、本年も6月1日の世界牛乳の日、6月の牛乳月間の取り組みを推進します。全改協におかれては、本年もポスターを加盟店に配布いただくほか、「牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール」では、牛乳販売店特別賞の選出などで協力いただいております。

Jミルクは、生産者、乳業メーカー、牛乳販売店の3者が作り上げてきた、他の業界にはないユニークな団体です。この強みを活かし、皆さまと共に、利害を乗り越え、業界の共通課題を解決していきます。3者のうち販売分野を担う全改協におかれては、引き続きご協力をお願いする次第です。

最後に、牛乳販売店事業のますますのご隆盛と皆さまのますますのご健勝を祈念しましてお祝いの言葉といたします。

## 祝辞

### 森永乳業株式会社　執行役員　松本 恭永 氏

賛助会員を代表してご挨拶させていただきます。本日は、第41回通常総会の開催、心よりお慶び申しあげます。全改協の、牛乳宅配事業の発展に向けたマークを超えた取り組みは、生活者の消費動向が大きく変化する厳しい市場環境の中で、牛乳の


内臓脂肪が気になる方へ

雪印メグミルク

ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす

恵 megumi
ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ 宅配専用
機能性表示食品（届出番号 B4）
アレルゲン（27品目中）：乳成分、大豆

恵 megumi
ガセリ菌SP株ヨーグルト 宅配専用
機能性表示食品（届出番号 B3）
アレルゲン（27品目中）：乳成分

雪印メグミルク 宅配フリーダイヤル 0120-758-369（なごやかミルク） 9:00～17:00（日・祝日・年末年始除く）

届出表示：本品にはガセリ菌SP株が含まれます。ガセリ菌SP株には、内臓脂肪を減らす機能があることが報告されています。　機能性関与成分：ガセリ菌SP株　本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。また、特定保健用食品ではありません。食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

消費拡大、および事業者の経営安定に向けた事業として、酪農の発展、生活者の健康生活の向上に寄与されており、橋本会長はじめ執行部の方々、会員の皆さまのご尽力に敬意を表します。

宅配市場は今や2兆円を超える勢いで拡大し、高齢化の進行によるシニア層の増加により、今後もさらに拡大すると予想されております。一方で牛乳宅配は、健康志向の高まりにより発酵乳を中心として需要はあるが、全体でみれば販売店の高齢化により非常に苦戦を強いられているのが実情です。しかしながら、〝団塊の世代〟が75歳以上の後期高齢期を迎える2025年以降、日本の社会構造、産業構造、消費行動が大きく変化すると言われており、その影響をどう予測して、どう対策を講じていくかというのが非常に大きな課題となっております。全改協の様々な取り組みは、こうした超高齢化社会の中でこれまで以上に顕在化することが予測される買い物弱者に向き合い、地域に密着する宅配サービスとして重要な社会インフラとして再認識される取り組みだと考えております。こうした社会環境の中、先ほど橋本会長が「三つの『活かす』」を推進されるとおっしゃいましたが、今後も流通業界の担い手となり牽引していただくようご祈念いたします。

最後になりましたが、全国牛乳流通改善協会ならびに加盟店の皆さまのますますのご繁栄を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

# 平成30年度事業計画の概要

1面の総会開催報告の記事にも書きましたように、平成30年度事業につきましては、昨年度　3月16日に開催された平成30年度第1回臨時総会にて承認されております。事業の内容につきましては前号（平成30年5月1日発行）でお知らせしておりますが、ここで再度示させていただきます。

## ❶加盟店サポート事業

一加盟店や一マーク団体ではできない事業、スケールメリットがある事業を実施します。

「活かす」の1番目「社団法人の特権を最大限に『活かす』」、2番目「マークの垣根を越えたスケールメリットを最大限に『活かす』」事業です。

### (1)ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

従来、Jミルクが主に企画し、全改協は制作面で関与してきましたが、平成30年度から、全改協単独制作になり、全改協で独自の企画をすることが可能になりました。高齢の宅配利用者に配慮し、日付のメモ欄を大きくし、緊急連絡先の記入欄を設けるなどのアイディアを新たに盛り込みました。

紹介する料理も、牛乳をたっぷり使って、おいしく、比較的簡単に作れることを意識しました。

### (2)食品流通構造改善緊急対策事業

加盟店の皆さまが、宅配システム、冷蔵車両、保冷車両、冷蔵庫・冷凍庫等を導入する際の費用軽減を図るため、公益財団法人食品流通構造改善促進機構の支援事業を活用して、リース料負担額の軽減を図る事業です。

昨年度まで設定していた申込期日を廃止したのでいつでも申込みを受け付けられます。また、農水省の認定がおりるのが早くなり、申込みから承認まで、最短で一ヶ月程度で利用できるケースがあります。

## ❷優良事例店の発表および表彰事業

少子高齢社会の中で、地域社会に貢献し、お客様対応や経営管理などで優れた実績を示している加盟店を表彰する事業です。

これまでは加盟店の審査は都道府県流改協が行ってきましたが、今年度からは流改協の会員マーク協からの応募になりました。

また、従来は製本した報告書を各加盟店等に送付していましたが、今年度からは、流改協事務局の負担軽減とペーパーレス化の一環として製本での配布は廃止し、別の媒体で加盟店等に告知できるよう検討中です。

## ❸事業会議

本年度から大きく変わった全改協の事業内容や事務の取り扱いを、実際の事務に携わる、各流改協事務局と都道府県各マーク協担当者に説明し、また意見を伺いました。昨年度までは各流改協の会長と事務局の代表者が出席するので、「地区別代表者会議」と称していましたが、今年度からは出席対象者の変更により、「地区別会議」に名称を変更しました。

すでに5月末から6月にかけて実施しました（下の記事参照）。

## ❹広報関連事業

### (1)機関紙「全改協だより」の発行

年4回発行します。全改協の事業内容、加盟店の皆さまに役立つ情報や関連する法律、政府からの情報、Jミルクなど関係団体が発信する牛乳乳製品や酪農乳業界の情報、そのほか加盟店の皆さまの経営活性化につながる情報を掲載します。

### (2)全改協ホームページ

都道府県流改協や加盟店の皆さまに全改協から提供する情報、必要な文書、知ってほしい情報などをタイムリーに掲載します。また一般に向けて宅配牛乳や牛乳販売店への理解を深めるようにしています。

# 地区別会議を開催しました

上の事業内容で説明したように、今年度の事業を各流改協事務局と都道府県の各マーク協担当者に説明し、意見を伺う場として「地区別会議」を全国5か所で開催しました。

全改協の会議に今回初めて参加される方が多いため、橋本会長から、全改協とはどんな組織か、またその使命、役割、目指すところについて、設立の歴史にさかのぼり説明しました。

参加者の自己紹介に続き、事務局から本年度の各事業の説明をしました。特に、昨年度以前からの変更点が多いミルクカレンダーのすすめ方については、質問、意見を多くいただきました。

次に、橋本会長が総会でも表明した「三つの『活かす』」の理念に基づいた加盟店のメリットになる事業とはどのようなものか、加盟店の社会的地位の向上のために全改協が何をすべきか、等に対して参加者から意見を募りました。

意見として、たとえば、配布物や伝達事項について、今年度からは全改協から直接マーク協に流すことで、流改協事務局の事務負担の減少やスピードアップの期待の声があった反面、流改協の存在意義が薄れる、全改協・流改協の求心力の低下を懸念する声もありました。

これらの貴重な意見は、理事会等で今後検討し、改善に活かさせていただきます。

**〈地区別会議開催日と開催場所、参加都道府県〉**

**●東京**
**5月30日(水)**
参加都道府県
**茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、新潟県、富山県、石川県**
担当役員
**橋本会長、北川副会長、荻原副会長、伊藤常務、全改協事務局**

**●福岡**
**5月31日(木)**
参加都道府県
**広島県、山口県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県**
担当役員
**橋本会長、北川副会長、中西専務、全改協事務局**

**●名古屋**
**6月7日(木)**
参加都道府県
**石川県、岐阜県、愛知県、三重県、静岡県**
担当役員
**橋本会長、荻原副会長、白羽常務、全改協事務局**

**●大阪**
**6月8日(金)**
参加都道府県
**福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、徳島県、香川県**
担当役員
**橋本会長、荻原副会長、中西専務、白羽常務、全改協事務局**

**●仙台**
**6月14日(木)**
参加都道府県
**北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県**
担当役員
**橋本会長、北川副会長、伊藤常務、全改協事務局**

# 都道府県流改協所在地一覧

2018年8月現在

| 都道府県 | 郵便番号 | 事務局所在地 | 会長（敬称略） |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 006-0014 | 札幌市手稲区富丘4条4丁目8-6　北本牛乳店　内 | 北本勝幸 |
| 青森県 | 031-0841 | 八戸市鮫町字上鮫46-3　（有）坂本商店　内 | 工藤雅彦 |
| 岩手県 | 020-0033 | 盛岡市盛岡駅前北通1-10　雪印メグミルク（株）市乳事業部　北東北販売課　内 | 家村正則 |
| 宮城県 | 983-0045 | 仙台市宮城野区宮城野1-12-1　雪印メグミルク（株）市乳事業部　南東北販売課　内 | 水戸良郎 |
| 秋田県 | 010-8558 | 秋田市八橋南2-10-16　全農秋田県本部　園芸畜産部　畜産酪農課　内 | 伊藤恵祐 |
| 山形県 | 990-0071 | 山形市流通センター1-12-3　森永乳業（株）東北支店市乳担当　内 | 村形悦男 |
| 福島県 | 963-8025 | 郡山市桑野3-19-12　森永乳業（株）　内 | 赤間和夫 |
| 茨城県 | 310-0852 | 水戸市笠原町1414　いばらく乳業（株）　内 | 小野裕二 |
| 栃木県 | 321-0104 | 宇都宮市台新田1-4-21　森永乳業（株）関越支店　宇都宮営業所　内 | 湯浅有二 |
| 群馬県 | 371-0855 | 前橋市問屋町1-4-5　森永乳業（株）北関東支店　内 | 中島保廣 |
| 埼玉県 | 370-0826 | 高崎市連雀町81　雪印メグミルク（株）市乳事業部　埼玉販売課　内 | 新井憲一 |
| 千葉県 | 297-0015 | 茂原市東部台3-21-5　山田様方 | 上原啓資 |
| 東京都 | 101-0032 | 千代田区岩本町2-11-3　第8東誠ビル7階 | 宮島寿一 |
| 神奈川県 | 182-0025 | 調布市多摩川1-30-1　雪印メグミルク（株）市乳事業部　首都圏販売一課　内 | 平田英明 |
| 長野県 | 390-0851 | 松本市島内4184-1　協同乳業（株）信越支店　内 | 川井康史 |
| 新潟県 | 950-0914 | 新潟市中央区紫竹山1-7-1　雪印メグミルク（株）　内 | 川田泰弘 |
| 富山県 | 921-8842 | 野々市市徳用2-362　森永乳業（株）北陸支店　内 | 米丘三明 |
| 石川県 | 464-0850 | 名古屋市千種区今池5-1-5　名古屋センタープラザビル7階　雪印メグミルク（株）市乳事業部中部販売課　内 | 上野幸司 |
| 福井県 | 910-0803 | 福井市高柳2-1301　レインボービル6階　日本酪農協同（株）　内 | 杉田武彦 |
| 岐阜県 | 502-0905 | 岐阜市山吹町6-49-2　東海乳業（株）　内 | 加藤正三 |
| 愛知県 | 460-0022 | 名古屋市中区金山4-3-7　中洋ビル2-C | 白羽恵司 |
| 三重県 | 515-2112 | 松阪市曽原町245　森永乳業（株）三重営業所　内 | 和田　晋 |
| 静岡県 | 422-8018 | 静岡市駿河区西大谷9-17　長島様方 | 木村時夫 |
| 滋賀県 | 520-0003 | 大津市あかね町3-1　日本酪農協同（株）滋賀工場　内 | 田村長次郎 |
| 京都府 | 600-8482 | 京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町304-2 | 福冨良亮 |
| 大阪府 | 666-0142 | 川西市清和台東5-2-50　荒木様方 | 寺西洋一 |
| 兵庫県 | 594-0074 | 和泉市小田町1-8-1　日本酪農協同（株）近畿販売部　販売第一課　内 | 猪花武志 |
| 奈良県 | 639-0231 | 香芝市下田西4-108-15　中野様方 | 新田国範 |
| 和歌山県 | 641-0055 | 和歌山市和歌川町5-9　上田様方 | 上田義信 |
| 岡山県 | 703-8505 | 岡山市中区神下565　オハヨー乳業（株）中・四国支店　内 | 風早　寛 |
| 広島県 | 733-0854 | 広島市西区山田町539　広島協同乳業（株）　内 | 尺司守夫 |
| 山口県 | 804-0012 | 北九州市戸畑区中原東2-9-1　農協牛乳販売（株）　内 | 横山守男 |
| 徳島県 | 765-0012 | 善通寺市上吉田町504　日本酪農協同（株）　内 | 岩橋公二 |
| 香川県 | 760-0078 | 高松市今里町4-18　森永乳業（株）四国支店　内 | 中西圀彦 |
| 福岡県 | 807-0832 | 北九州市八幡西区東筑2-6-1　（有）二神商店　内 | 二神良樹 |
| 佐賀県 | 814-0001 | 福岡市早良区百道浜2-4-27　AIビル5階　雪印メグミルク（株）市乳事業部　九州販売課　内 | 中島篤三 |
| 長崎県 | 857-0402 | 佐世保市小佐々町小坂306-2　堀田様方 | 堀田元樹 |
| 熊本県 | 861-2101 | 熊本市桜木6-3-54　熊本県畜産会館　内 | 堀田征夫 |
| 大分県 | 870-1201 | 大分市大字廻栖野3231　大分県酪農業協同組合　内 | 山下淳博 |
| 宮崎県 | 814-0001 | 福岡市早良区百道浜2-4-27　AIビル5階　雪印メグミルク（株）市乳事業部　九州販売課　内 | 甲斐哲郎 |
| 鹿児島県 | 890-0062 | 鹿児島市与次郎2-4-35　KSC鴨池ビル5階　南日本酪農協同（株）　内 | 篠原博文 |